

# 校長室だより

令和4年度



令和4年5月6日(金)  
志免町立志免東小学校  
校長 宮邊 淳一



## 今年度大切にしていくこと

### コミュニティ・スクール (学校運営協議会制度)

Q. コミュニティ・スクールとは、何ですか？

- 学校運営協議会を設置している学校のことです。
- 学校の運営に地域が関わっていく仕組みです。
- 地域ぐるみで子どもたちを育てていく取組です。

ポイント

※保護者や地域のみなさんの声を学校運営に生かして、地域と一緒に「特色ある学校づくり」を進めていくことができ、教育活動が充実します。

Q. コミュニティ・スクールでは、何を指すのですか？

- 「地域とともにある学校づくり」と「学校とともにある地域づくり」を目指します。
- 学校・家庭・地域の三者による学校づくりと地域づくりを目指します。
- 「社会に開かれた教育課程」の実現を目指します。

ポイント

※「社会に開かれた教育課程」→新しい学習指導要領で示された目標で、教育の理念を学校と社会とが共有し、社会との連携及び協働により実現することを言います。

Q. 学校運営協議会の役割は何ですか？

- 校長が作成した学校運営の基本方針を承認します。
- 学校運営について意見を述べるができます。
- 協議の結果に関する情報を地域住民等知らせ、理解や協力を求めます。

ポイント

※学校運営協議会は、学校運営協議会の活動をみんなで話し合っていることができる、いわゆる「合議制」の組織です。

ゴールデンウィークはいかがでしたか？規制が解けたこともあり、今年のお休みは少し遠出をされたご家庭もあったのではないのでしょうか。お休み中の思い出をうれしそうに話しかけてくれる子どもたちがたくさんいました。

P T A総会の資料にも掲載しましたが、今年度より志免町内の小中学校では、コミュニティ・スクールが導入されます。本来ならば総会の中で直接お話しするべきところでしたが、その機会をとることができませんでしたので、ここで概略を説明いたします。

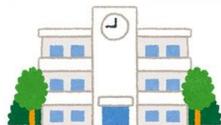
### 志免町の将来像 みんなで未来をつくるまち ～手と手を取り合い住みつづけたい しめ～

第6次志免町総合計画(志免町の将来像)



#### 志免町の教育目標

夢や志をもち、  
ふるさと志免を拓く人づくり



#### 志免東小学校の教育目標

夢をもち、自ら学び続け、心豊かで、  
心身共に健康な子どもの育成

校区健全育成協議会をベースにした、

「コミュニティ・スクールしめひがし」1年次に取り組む。

コミュニティ・スクール(以下CS)とは、学校評議委員会とも呼ばれ、全国の学校で導入が進められています。その目的や役割などをまとめてみました。

志免町には、「第6次総合計画」という町全体の目標があり、それに則った教育目標が設定されています。「夢」「志」がキーワードであり、学校の教育目標も、これをベースに形にしています。CSは、これらの目標を具現化するための1つの方策になります。

今年度の学校づくりも、CSを推進していくことに触れています。今年度の合言葉は「気づき・考え・実行する」です。

### 令和4年度 志免町立志免東小学校

学校の教育目標 夢をもち、自ら学び続け、心豊かで心身共に健康な子どもの育成

めざす子ども像

- 【いきいき】 「聞く・話す・書く」こと考えを深め、「できる」を実感する子ども
- 【のびのび】 思いやりの心で互いを大切に、「できる」を実感する子ども
- 【ちやくちやく】 何事にも粘り強く取り組み、「できる」を実感する子ども
- 【メタ認知】 自分を振り返り、次の目標に向かうことができる子ども

子どもに育てたい力

- 自尊感情を高め、人権意識を育成することで子どもの豊かな心を育む。
- 「東小ふれあい宣言」の充実・深化
- 自分を大切にすること用いよう、思いのたけだまを大切に
- 学力の向上、基礎基本の確実な定着と身に付けた知識や技能を活用して、対話を行ないながら課題を解決する力を育成する。

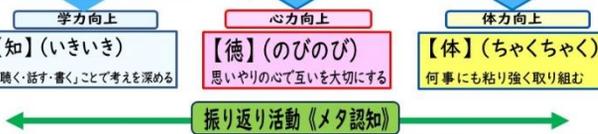
【キーワード】  
気づき・考え・実行する

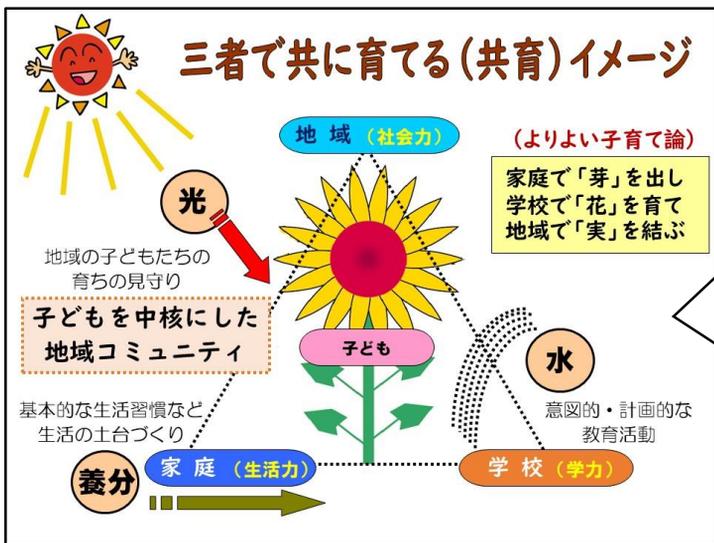
- 教師が求めること
- 教職員の共通理解・共通認識による指導体制の在り方・学年、各分組の連携・機能化による組織的な運営
  - ・子どもを認める(教師のふれあい宣言)
  - ・数値目標を大切にしたい手立ての究明
  - 教職員の資質向上をめざす研修の充実
  - ・「わかる・できる」が実感できる授業力向上のための研修
  - 志免町コミュニティ・スクールにおける活動の充実

重点目標

自分の「のび」を自信につなげると共に、夢への足かりをつくる。

- 公務員たる教職員が身につける人権感覚についての意識改革
- 東小「学びのスタンダード」を確にした基盤・基本の定着
- ・「わかる」「できる」「つかえる」を意図した思考力・活用する力の充実
- プロジェクト型研修を生かした組織的な教務運営の充実





学校、家庭、地域の役割、めざしていくものがそれぞれありますが、その関係を意識し合いながら、お互いがカバーし合っていくことも大切です。子どもを中心にしていく中で、それぞれで力を付けていくものを活用することも大切です。

### コミュニティ・スクール 志免スタイル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校	学校運営協議会 方針 校長 承認		教育活動						学校運営協議会 意見 評価			
取組	P				D					C	A	
志免町	志免町 CS会議						志免町 CS会議					

年間の活動スケジュールです。学校運営協議会のみならず、学校・家庭・地域のつながりが見える化していきたいと思っています。どのような活動をしているのかは、みなさんにお知らせしていきます。ボランティアをお願いすることもあるかと思っています。ご協力、よろしくお願ひいたします。



志免東小学校には以前より、「校区健全育成協議会」という組織が存在し、左のような活動をしていました。  
「CSしめひがし」では、この活動を基盤に、今年度の活動を展開していきます。子どもたちと共に活動できることがCSの何よりの特徴です。感染症拡大への対応に配慮しながら進めて参ります。  
みなさまも、機会を見つけ、ぜひご参加ください！

新しい活動を行おうとするとき、つい大上段に構えてしまい、フットワークが重くなりがちですが、これまでの活動を継続しつつ、新たな活動へと更新できたらと思います。来年度、令和5年度は、本校創立50周年の節目の年になります。これまでの伝統から本校・本地域のよさを再認識し、新たな伝統を創り上げていくよい機会でもあります。多くの方々とのふれ合いの中で、活動を充実させていきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

